



長時間の断水が日常化 販売所から水購入の住民も

● 水道設備の利用状況 (2015年 単位:人)

総人口 (都市部+農村部)	21,295,000
水道管による給水	9,056,000
改善された衛生設備	4,789,000
都市部人口	11,538,000
水道管による給水	7,594,000
改善された衛生設備	3,786,000
農村部人口	9,757,000
水道管による給水	1,462,000
改善された衛生設備	1,003,000

行うというものである。従って Sodeci も、水道施設の運転・維持管理に加えて、顧客対応や料金徴収などを行っている。Sodeci とコートジボワール政府の関係を表に整理する。

□2. アビジャンの上水道
2011年のデータによると、アビジャンは地下水を水源とする8つの浄水場から日量31万立方メートルを供給している。また、各家庭への水道管の整備という点でみれば、同市は間違いなく国内でも発達した場所の1つである。他方、市人口の約2割にあたる100万人が住む同市のアボボ (Abobo) 地域では、給水管が布設されていても蛇口の水をほとんど利用できない家庭

が多いという。アビジャンにあるフェリックス・ウフェルボワニ大学の調査によると、台地であるアボボの標高は最も高い所で125メートル、配水管の圧力低下が頻発し、断水が極めて多い。のみならず、そもそも水道が全く整備されていない区画もある。こうした状況からアボボでは、Sodeci と契約を結んだ民間の水販売業者 (及び契約のない違法販売業者) が、水供給において重要な役割を担っている。

調査対象となった、販売業者から水を購入する全家庭のうち、7割近い家庭は Sodeci の契約者であり、自宅に蛇口があったという。にもかかわらず業者から水を購入するのは、数日に及ぶ断水や早朝1〜2時間しか水が出ないことが珍しくないからで、Sodeci の契約者、非契約者を問わず、多くの人々が手桶やポリタンクを持って水の販売所を訪れている。販売業者には、固定の販売所を設けて水を売るものと、各戸に車で水を届ける宅配型がある。しかし販売所の水が Sodeci の平均料金の3〜5倍であるのに対して、

宅配は12〜19倍と高額になる。そのため半分以上の家庭では、片道200メートル〜1キロの徒歩での移動や、30分〜1時間の待ち行列もいとわず販売所まで足を運ぶ。一方で、土の地面に直接容器を置いてホースで注水する販売所では衛生面が心配される。同調査では、こうした不衛生も料金高騰も、元は飲料水が十分に利用できないことに起因するため、国による一層の設備投資が必要だろうと結論している。

□3. 上下水道の利用状況
連が2000年に採択したミレニアム開発目標では、その目的の1つに、「安全な飲料水と基礎的な衛生施設を継続的に利用できる人々の割合を15年までに半減すること」を掲げた。ミレニアム開発目標の対象の1つとして、コートジボワールについても国連が定期的なデータ収集を行っており、



コートジボワールの集落=写真提供 JICA

- 出典
1. Sodeci. www.sodeci.ci
 2. Onep (Office National de l'Eau Potable). www.onepci.net
 3. Onad (Office National de l'Assainissement et du Drainage). www.onad.ci
 4. Revue. Acteurs privés et approvisionnement en eau potable des populations de la commune d'Abobo (Côte d'Ivoire). www.3.laurentian.ca/rcgt-cjtg
 5. Knoema. WHO/UNICEF Water Supply Statistics, 2015. <https://knoema.com>

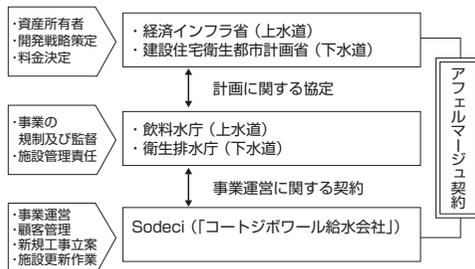
西 アフリカのコートジボワール共和国は、面積32万平方キロと日本の0.9倍、人口は約2100万人である。旧フランス植民地であり、公用語に仏語をとる。通貨として、アフリカにおける旧フランス植民地の多くの国で使われている共同通貨、セーファーフランを採用している。憲法上の首都は

- 公益財団法人 水道技術研究センター 専務理事 安藤 茂
- 同センター 総務部主任研究員 高橋 邦尚

● Sodeci の事業運営データ (2015年)

事業契約内容	・国内全体的上水道事業 ・アビジャンの下水道事業
上水道契約件数	85万件
下水道契約件数	39万件
年間浄水量	2.27億m ³
株主	Eranove (46.07%)、 Sodeci 職員 (6.72%)、 コートジボワール政府 (3.25%)、 Sidip (4.81%)、 その他民間 (39.15%)
職員数	1938人

● Sodeci とコートジボワール政府の関係



□1. 水道の責任主体
国土全体における上水道事業は、中央政府との委託契約にもとづき、民間会社 Sodeci が運営している。社名の Sodeci は通称で、コートジボワール給水会社を意味する仏語「Société de Distribution d'Eau de la Côte d'Ivoire」の頭文字に由来する。下水道事業はアビジャンのみ Sodeci が受け持っており、

他の地域、とりわけ農村部においては下水管路による下水道はほとんど普及していない。Sodeci の設立は、同国のフランスからの独立と同年の60年に遡る。当初はアビジャンの上水道事業だけを行っていたが、74年に他の地域の上水道事業にも進出し、99年にはアビジャンの下水道事業も任せられるようになる。親会社である Eranove は、セネガルやコンゴ (公用語はともに仏語) においても事業を展開するフランスの電気水道会社である。表に、Sodeci の事業運営データを示す。

管 轄官庁は、上水道が経済インフラ省、下水道は建設住宅衛生都市計画省である。より直接的には、両省との協定にもとづき、飲料水庁 (Onep) および衛生排水庁 (Onad) が、水道施設の管理や事業全体の監督、Sodeci との事業契約の管理などを行っている。Sodeci と中央政府の事業契約はアフエールマージュ方式で、施設建設に要する投資は公共団体がを行い、施設の日常的な運用や種々の公共サービスは受託民間事業者が